

学会告知板

TETRA ACADEMIC CONGRESS IN YOKOHAMA 2026

会期・会長・副会長 ●全体会期：2026年7月31日(金)～8月2日(日)

【第62回日本眼感染症学会】2026年7月31日(金)，8月1日(土)，2日(日)

会 長：子島良平(宮田眼科病院)

副会長：中村彰伸(宮崎県眼科医会，会長)

【第59回日本眼炎症学会】2026年7月31日(金)，8月1日(土)，2日(日)

会 長：海老原伸行(順天堂大学医学部附属浦安病院)

副会長：水野谷 智(千葉県眼科医会，会長)

【第9回日本眼科アレルギー学会学術集会】2026年8月1日(土)，2日(日)

会 長：海老原伸行(順天堂大学医学部附属浦安病院)

副会長：水野谷 智(千葉県眼科医会，会長)

【第14回日本涙道・涙液学会総会】2026年7月31日(金)，8月1日(土)，2日(日)

会 長：鶴丸修士(鶴丸眼科)

副会長：吉富文昭(福岡県眼科医会，会長)

会 場 ●パシフィコ横浜 ノース

プログラム(予定) ●【合同プログラム】

4学会合同シンポジウム「Cutting edges in TAC」

【第62回日本眼感染症学会】

特別講演，シンポジウム，YOC シンポジウム，学術奨励賞(三井賞)受賞講演，一般講演，JAOI 塗抹検鏡スキルトランスファー，第518回 ICD 講習会

【日本眼炎症学会・日本眼科アレルギー学会合同招待講演】

【第59回日本眼炎症学会】

シンポジウム，教育セミナー，学術奨励賞受賞講演，一般講演

【第9回日本眼科アレルギー学会学術集会】

会長講演，会長企画，優秀賞受賞講演，一般講演

【第14回日本涙道・涙液学会総会】

特別講演，シンポジウム，学術奨励賞受賞講演，一般講演，第12回 JSLT 涙道スキルトランスファー

モーニングセミナー，ランチョンセミナー，イブニングセミナー，器械展示・書籍展示

学会ホームページ ●<https://convention.jtbcom.co.jp/tetra2026/>

一般演題募集 ●2026年1月27日(火)～3月25日(水)

事前参加登録 ●2026年1月27日(火)～6月15日(月)

運営事務局 ●株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

コンベンション第二事業局内

〒530-0004

大阪府大阪市北区堂島浜 1-1-27 大阪堂島浜タワー 5 階

Tel：06-4964-8869 / e-mail：tetra2026@jtbcom.co.jp

第 130 回日本眼科学会総会

会 期 ●2026 年(令和 8 年) 4 月 9 日(木)～ 12 日(日)

会 場 ●福岡国際会議場/〒 812-0032 福岡市博多区石城町 2-1

マリンメッセ福岡 A 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 7-1

マリンメッセ福岡 B 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 2-1

総会長 ●園田康平(九州大学大学院医学研究院 眼科学分野, 教授)

副総会長 ●吉富文昭(福岡県眼科医会, 会長)

プログラム委員長 ●平岡孝浩(筑波大学医学医療系眼科, 准教授)

テーマ ●夢見るまなざし

主 催 ●公益財団法人日本眼科学会

主管校 ●九州大学大学院医学研究院 眼科学分野

〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-5648 / Fax : 092-642-5663

事務局長 : 村上祐介

演題募集 ●締め切りました。

参加登録 ●事前参加登録 : 2025 年 10 月 1 日(水)～2026 年 2 月 20 日(金)

追加参加登録 : 2026 年 2 月 21 日(土)～オンデマンド配信(単位取得可能期間)終了まで
※今回の事前参加登録は, オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済での
オンライン登録のみです。郵便振替登録は行いませんのでご注意ください。

プログラム ●特別講演 1 : 「病的近視の本質を追いて求めて～患者さんが教えてくれたこと～」

大野京子(東京科学大)

特別講演 2 : 「これからの眼科学の在り方についての考察」

柏木賢治(山梨大)

招待講演 1 : 「Genetic Risk is not your Destiny : From Susceptibility to Resilience in
Age-related Macular Degeneration」

Caroline C.W. Klaver (Erasmus MC Rotterdam and Radboudumc
Nijmegen, the Netherlands / IOB and Univ. of Basel, Switzerland)

招待講演 2 : 「Controlling and managing multiple faces of inflammation」

Andrew D. Dick (UCL-Inst. of Ophthalmology, UCL / School of
Cellular and Molecular Medicine, Univ. of Bristol / NIHR Biomedical
Research Ctr., Moorfields-UCL, UK)

代議員会指名講演 : 「小児眼科の進歩」

仁科幸子(国立成育医療研究センター), 近藤寛之(産業医大), 福嶋葉子(大阪大)

シンポジウム<総会長枠> :

「アジアにおける眼科遠隔医療と公衆衛生」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 1)

「アジアにおける国際共同研究のあり方と展望」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 2)

「難病の治療が変わる! これからのゲノム科学とプレジジョン医療」

「チームアジアから発信する眼科新知見!!」

<プログラム委員会枠> :

「視機能を考慮した角膜診療」「水晶体混濁の分子メカニズム解明とその制御・予防戦略」
「緑内障の未来を切り開く研究」「網膜硝子体疾患に対する硝子体手術のイメージ
ングによる評価と再考」「疾患概念の変革を推し進める糖尿病網膜症研究」「アレル
ギー性結膜疾患の診断・病態理解におけるアンメットニーズ」「ぶどう膜炎診療の次世

代アプローチ：個別化医療が切り拓く新たな可能性」「小児眼科医療の未来を拓く」「斜視・弱視診療のパラダイムシフト」「視機能を守れ～創薬の探求～」「高齢視覚障害の時代に挑む～眼科医が果たすべき使命～」「眼循環から病態をミル！」「医師の働き方改革2年後の検証—医療の質と働き方の両立に向けて」「今そこにあるダイバーシティ～多様性を知り広がる眼科の世界～」「＜基礎研究セミナー＞炎症と疾患についての現在の考え方」

＜戦略企画会議第四委員会枠＞：「他領域から学ぶ最先端研究」

＜戦略企画会議第五委員会枠＞：「眼科医が知っておくべき AI 技術」

＜社会保険会議シンポジウム＞：「令和8年度診療報酬改定の総括」

教育セミナー：

「臨床研究の基本」「眼科感染制御 ファクトチェック」「眼科診療に MRI は必要だ！」

「前眼部 OCT マスターを目指そう！」「先手必勝！眼腫瘍 ～まず何を考え何をすべきか～」「ERG をもっと臨床に役立てよう」「徹底解説！乳幼児診察の基本手技と診療ポイント～目の前の赤ちゃん、あなたはどうか診る？～」「遺伝学の最前線～JOS/JSHG ジョイントセッション～」「日本型パイオイノベーションの進化：産官学の協創戦略」「専門医志向者トレーニングコース」

International Symposium：

＜炎症・感染・アレルギー＞「Current Topics in Ocular Immunology and Uveitis」

＜角結膜＞「The Cutting Edge of Corneal Research: Bridging Bench and Bedside」

サブスペシャリティサンデー：

＜前眼部疾患＞「もっと知ろう！眼瞼炎」「多焦点眼内レンズの Now and in the Future」「新しい治療でどう変わる？角膜移植術の適応」

＜緑内障・視神経症＞「視神経疾患診断治療の不易流行」「緑内障診断の不易流行」「緑内障治療の不易流行」

＜後眼部疾患＞「Lamellar macular hole 類縁疾患への理解」「裂孔原性網膜剥離の治療を極める」「RVO, DME の薬物治療の最前線」

＜小児眼科・眼腫瘍・視機能＞「それって本当にその病気？～専門家たちの事件簿～」「AI に負けない眼科サブスペシャリティ」「ロービジョンケアを再構築する」

スキルトランスファー：

「眼科基礎研究スキルトランスファー～躍進する女性研究者の研究スタイルに学ぶ～」
「すぐにできる検影法—レチノスコピー基本習得コース—」

The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists

Young Ophthalmologists Committee シンポジウム：

「このシンポジウムが効きまっせ！—夢見る若手の研究と国際戦略」

一般講演、学術展示、共催セミナー（モーニング、ランチョン、アフタヌーン、イブニング、フェアウェル）、（一社）日本眼科医療機器協会併設機器展示、市民公開講座「見る」を支える。

※詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。

ホームページ ● <https://www.congre.co.jp/130jos/>

運営事務局 ● ☎ 810-0001

福岡県福岡市中央区天神 1-9-17-11F

株式会社コングレ 九州支社

Tel：092-718-3531 / Fax：092-716-7143 / e-mail：130jos@congre.co.jp

お問い合わせ等ありましたら、運営事務局までお問い合わせください。

第 31 回眼病理組織スライドセミナー

日本眼科学会専門医認定試験の B 問題として過去数年間に出题された病理、腫瘍および眼窩疾患関連の問題を中心に解説を行います。

日 時 ●2026 年 4 月 12 日(日) 13:00~16:00

場 所 ●福岡国際会議場(Web ライブ配信有り)

〒 812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

※第 130 回日本眼科学会と同じ施設での開催ですが、日本眼科学会とは別に参加登録が必要となります。

プログラム ●教育講演 1: 眼病理総説および 2019~2021 年の専門医試験問題解説

教育講演 2: 2022~2025 年の専門医試験問題解説

会 費 ●事前登録 5,000 円, 当日登録 7,000 円

事前登録締切日: 2026 年 3 月 27 日(金)

申込方法 ●okizaki.fumie.435@m.kyushu-u.ac.jp

上記のアドレスに①~⑤をお送りください。

確認後、事務局よりお振込先等の詳細メールを送らせていただきます。

Web 視聴の URL は会費入金確認後にメールにてご案内いたします。

①お名前

②ご所属

③ご住所

④テキスト送付希望のメールアドレス

⑤お電話番号

運営事務局 ●〒 812-8582

福岡県福岡市東区馬出 3-1-1 九州大学眼科内

日本眼病理研究会事務局

Tel: 092-642-5648 / Fax: 092-642-5663

学 会 告 知 板**第 59 回眼科臨床病理組織研究会
(第 96 回九州眼科学会 内)**

日 時 ●2026 年 5 月 30 日(土)予定

会 場 ●宮崎市民プラザ

〒 880-0001 宮崎市橋通西 1-1-2

参加登録 ●「第 59 回眼科臨床病理組織研究会」は、「第 96 回九州眼科学会」内のセッションとして開催いたします。眼腫瘍など病理組織の関連した演題を多数お寄せください。

なお、参加にあたりましては、九州眼科学会への参加登録が必要となります。

演題登録・参加登録は「第 96 回九州眼科学会」のホームページよりお願いいたします。

演題登録 ●第 96 回九州眼科学会の演題募集の締め切り日

* 詳細は九州眼科学会のホームページ(<https://www.congre.co.jp/kyugan2026/>)を参照ください。

演題採用決定後、発表症例の標本(H-E 染色)を事務局にお送りいただきます。

詳細につきましては、日本眼病理研究会事務局にお問い合わせください。

問い合わせ先 ●日本眼病理研究会事務局

〒 812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学眼科

担当 吉川 : yossykp@mac.com

沖崎 : okizaki.fumie.435@m.kyushu-u.ac.jp

Tel : 092-642-5648 / Fax : 092-642-5663

第 82 回日本弱視斜視学会総会

会 期 ●2026 年 6 月 5 日(金)・6 日(土)

会 場 ●Niterrra 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
〒 460-0022 愛知県名古屋市中区金山一丁目 5 番 1 号

会 長 ●横山吉美(JCHO 中京病院眼科)

学会ホームページ ●<https://convention.jtbcom.co.jp/jasa2026/>

プログラム(予定) ●特別講演「NYSTAGMUS – A Clinician's Perspective: 35 Years in the Making」

座長：横山吉美(JCHO 中京病院)

演者：Derek Todd Sprunger (Indiana University School of Medicine)

シンポジウム 1「視機能の不思議と魅力」

座長：仁科幸子(国立成育医療研究センター)，三木淳司(川崎医大)

「視機能の発達と臨界期(仮)」森 隆史(福島県医大)

「立体視力と抑制の関係(仮)」穂積健太(総合青山病院)

「斜視の眼球運動の軌跡を観察してみよう(仮)」三原美晴(富山大)

「両眼視機能の発達を意識した弱視治療法(仮)」広田雅和(帝京大・視能矯正)

シンポジウム 2「斜視手術の魅力に迫る」

座長：根岸貴志(順天大)，後関利明(国際医療福祉大・熱海)

「小児の眼性頭位異常を手術でどう治すか」増田明子(兵庫医大／うめだ駅前アイクリニック)

「麻痺性斜視を手術でどこまで治せるか」古森美和(浜松医大)

「調節系法を用いた斜視手術の実際(仮)」柴田貴世(Lino 眼科)

「QOL スコアから見た斜視手術治療の魅力」高橋慎也(小沢眼科内科病院)

日本弱視斜視学会講習会，一般演題(口演・学術展示)，ランチョンセミナー，アフタ
ヌーンセミナー，器械展示・書籍展示

※詳細は，学会ホームページの「プログラム」ページにてご案内いたします。

参加登録 ●事前参加登録：2026 年 1 月 28 日(水)～5 月 8 日(金)

※詳細は，学会ホームページの「参加登録」ページにてご案内いたします。

運営事務局 ●株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

コンベンション第二事業局内

〒 530-0004

大阪府大阪市北区堂島浜 1-1-27 大阪堂島浜タワー 5 階

e-mail：jasa2026@jtbcom.co.jp

学会告知板

第 30 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成のご案内

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 (Japanese Retinitis Pigmentosa Society, JRPS) では、網膜色素変性とその類縁疾患の治療法開発のための研究に対し助成を行っております。第 30 回の応募要項は以下の通りです。

対 象 ●網膜色素変性、網脈絡膜変性、ロービジョンに関する研究を行う研究者、または診療、教育、研究機関

研究期間 ●2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●100 万円 2 名(うち 1 名はライオンズ賞として、40 歳以下の若手研究者を対象とします。)

応募方法 ●① JRPS 研究助成申請 受付専用サイトよりご応募ください。

② JRPS 研究助成申請 受付専用サイトでは、指定フォームに、研究代表者名(フリガナ、生年月日)、研究機関名、住所、電話番号、e-mail アドレス、研究題目、研究実施計画(1,200 字以内)、研究計画と直接関係する業績目録を記入(直接入力)してください。

③関係する論文の別冊等、フォームに直接入力する以外の提出する資料は、すべて PDF ファイルに変換したうえで、ファイルを応募サイトよりアップロードして提出してください。

締め切り ●2026 年 2 月 28 日

選考方法 ●JRPS 学術審査委員の審査に基づいて理事会で決定し、結果は 2026 年 6 月中に研究代表者にご連絡します。

学術審査委員長：三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 眼科学 教授 近藤峰生

お問い合わせ ●〒 102-0072

東京都千代田区飯田橋 2-4-10 加島ビル 3 階

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 事務局

Tel : 03-6261-0321 / Fax : 03-6268-9308 / e-mail : info@jrps.org

ホームページ : <https://jrps.org>

学会告知板

第258回O.C.C.のご案内

日 時 ●2026年3月7日(土) 13:30~16:30
場 所 ●大阪大学中之島センター 10階 メモリアルホール
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3番53号
テーマ ●「網膜硝子体手術 update 2026」
連絡先 ●大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室
Tel: 06-6879-3456 / Fax: 06-6879-3458

学会告知板

第23回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー案内

—弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ—

「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その8—」

期 日 ●2026年2月28日(土) 14:45~17:15
開催形式 ●Web開催 + オンデマンド配信
講 演 ●1. 不同視・不等像視の考え方
不二門 尚(大阪大学)
2. 片眼弱視の診断と治療
野村耕治(兵庫県立こども病院)
3. 弱視斜視診療の落とし穴
下條裕史(大阪大学)
4. NDBを用いた全国調査から分かった斜視のあれこれ
宮田 学(京都大学)
5. レチノスコーピー講習会
登録料 ●医師 3,000円, 非医師 1,000円
主 催 ●近畿弱視斜視研究会
(遠藤高生, 不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 宮田 学, 森本 壮, 村木早苗, 増田明子, 西 智, 野村耕治, 佐々本研二, 白井久美, 下條裕史, 杉山能子, 菅澤 淳, 近江正俊, 内海 隆, 横山 連)
参天製薬株式会社
事務局 ●森本 壮(大阪大学眼科学教室)
問い合わせ窓口 ●加藤大貴(参天製薬株式会社)
Tel: 0120-310-106 / e-mail: daiki.kato@santen.com